

水球の普及に関する一考察

-水球教室に通う保護者の満足度に着目して-

川北 美央 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)
指導教員 吉倉秀和

キーワード：水球教室 保護者 満足度

1. 緒言

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、子どもの体力・運動能力は、昭和60年ごろから現在まで低下傾向が続いている。子どもの体力低下は、将来的に国民全体の体力低下につながり、生活習慣病の増加やストレスに対する抵抗力の低下などを引き起こすことがある。

子どもの体力低下の原因は、子どもを取り巻く環境は、一昔前に比べ大きく変化している。塾や習い事が忙しく、自由に外で遊ぶ時間と仲間が減っている。本研究では水球競技に着目し研究を行う。

日本の水泳競技の中で競泳の次に多い水球だが、スイミングスクールの割合に比べ水球を出る環境が少ない。多くの種目の中で、なぜ水球は競技人口が少なく、世間に知られていないのか。

2. 研究方法

【調査対象者】

水球教室に通う保護者

【調査方法】

質問紙によるアンケート調査

【調査項目】

満足構成要素4次元19項目を設定し、「1. 非常に不満足」から「5. 非常に満足」までの5段階リッカートスケールにて測定した。

【分析方法】

会員の人口的特性を明らかにするため SPSS を用いて単純集計を行い、有料・無料指導型水球クラブ別で t 検定を行った。

3. 結果と考察

表.19 総合満足度の評価に関する有料・無料の平均値と標準偏差および検定の結果

	全体(n=55)		有料(n=25)		無料(n=30)		t値	
	平均値	(SD)	平均値	(SD)	平均値	(SD)		
水球教室に満足している	5.50	1.29	5.36	1.38	5.62	1.24	-0.732	n.s.
水球教室への期待	5.15	1.36	5.04	1.40	5.24	1.35	-0.537	n.s.

表.21 ロイヤルティの評価に関する有料・無料の平均値と標準偏差および検定の結果一覧

	全体(n=55)		有料(n=25)		無料(n=30)		t値	
	平均値	(SD)	平均値	(SD)	平均値	(SD)		
会員になることを勧めたい	3.76	0.72	3.52	0.65	3.97	0.72	-2.39	n.s.
引き続き通わせたい	4.33	0.75	4.16	0.80	4.47	0.68	-1.54	n.s.

総合満足度の項目、ロイヤルティの項目どちらにも有意な差は認められなかったが、全体の平均より無料指導型水球クラブの方が数値が高かった。無料指導型水球クラブはスイミングのコーチ以外からも指導を受ける事ができる事が理由の一つと考えられる。

水球をメジャーにするためには、キッズ世代をターゲットにし、無料指導型水球クラブの特徴である、私を含めた様々な水球関係者が高校や大学施設を借り水球教室を定期的に開催することも一つの日本水球発展の近道になるのではないかと考えられる。